

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立クラフトパーク
施設所管課・担当	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習担当
条例上の設置目的	ガラス工芸、陶芸その他の工芸に関する講座等の開催及び情報の提供を行うことにより、市民の工芸に関する創作活動を支援するとともに、工芸の普及を図り、もって市民の文化の向上及び生涯学習の振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	クラフト（手作り工芸）の総合施設である「クラフトパーク」における施設の維持管理と、陶芸等の工房を活用した創作教室・体験教室等の事業や、クラフト関連の情報提供等の各種事業の運営。
成果指標	講座受講者満足度／イベント参加者満足度
数値目標	80％以上／平均80％以上
指定管理者名	一般財団法人大阪教育文化振興財団・イオンディライト株式会社共同事業体
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	講座受講者満足度	イベント参加者満足度
数値目標	80％以上	平均80％以上
年度実績	98.7%	97.7%
達成率	123.4%	122.1%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	41,412	42,257	-845
稼働率	—	—	—

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	2,999,247	18,003,815	2,999,247	光熱水費高騰にかかる損失補填
	計画	—	—		
利用料金収入	実績	170,263,690	152,051,296	6,180,690	受講料及び別注制作収入の増
	計画	164,083,000	151,811,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	45,889,887	38,729,909	-4,146,613	材料費収入の減
	計画	50,036,500	42,488,000		
合計	実績	219,152,824	208,785,020	5,033,324	
	計画	214,119,500	194,299,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	73,289,426	69,193,517	-6,240,574	職員配置等の見直しによる減
	計画	79,530,000	59,690,745		
物件費	実績	118,155,968	100,124,115	5,869,661	物価及び光熱水費高騰による増
	計画	112,286,307	99,131,807		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	27,707,430	39,467,388	5,404,237	同上
	計画	22,303,193	35,476,448		
合計	実績	219,152,824	208,785,020	5,033,324	
	計画	214,119,500	194,299,000		

令和6年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
講座受講者満足度	123.4%	S	
イベント参加者満足度	122.1%	S	

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
市政改革プランの実施計画に沿って、平成26年度からの2年以内で収支均衡を図るため、収入においては料金改定を行うとともに、支出においては開館時間の変更（夜間閉館）、高額な光熱水費が必要な吹きガラス教室一旦休止などにより、市費歳出の大幅な縮減を図った。（吹きガラス教室については、単体での収支均衡が図れるまでの状況となったため、平成30年10月に再開した。） <平成25年度>（利用料金制）管理代行料 74,977千円 <平成26年度>（利用料金制）管理代行料 14,771千円 <平成27年度>（利用料金制）管理代行料 0千円 <平成28年度>（利用料金制）管理代行料 0千円 <平成29年度>（利用料金制）管理代行料 0千円 <平成30年度>（利用料金制）管理代行料 0千円 <令和元年度>（利用料金制）管理代行料 0千円 <令和2年度>（利用料金制）管理代行料 0千円 <令和3年度>（利用料金制）管理代行料 0千円 <令和4年度>（利用料金制）管理代行料 0千円 <令和5年度>（利用料金制）管理代行料 0千円 <令和6年度>（利用料金制）管理代行料 0千円	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	A	
事業計画の実施状況	S	
施設の有効利用	S	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

令和6年度 指定管理者年度評価シート

【創作教室・自由創作教室受講生に対しアンケート用紙又はQRコードを利用してのアンケートを実施：年1回】

対象受講生数：974人 回答数508人 回収率52%

質問項目：受講教室・性別・年齢・気象状況別交通手段（晴天・雨天）・利用理由・目的・イベント開催時のボランティア参加の可否・今後の利用・満足度調査【事務所職員の対応・マナー、指導員の対応・マナー、授業内容】

満足度調査：事務所職員の対応・マナー 満足している 497人 満足していない 1人 未回答10人（98%）

指導員の対応・マナー 満足している 500人 満足していない 1人 未回答 7人（98%）

授業内容 満足している 494人 満足していない 2人 未回答12人（99%）

【イベント参加者に対しアンケート用紙を配付してアンケートを実施】

全体参加者数：1611人 回答数602人 回収率37%

質問項目：参加教室・感想・参加費・リピート率及び過去に参加した内容・イベントを知った広報物及びチラシの取得場所等・居住地・満足度【①とても満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満】

満足度 春 ① 85人 ② 7人 ③1人 ④0人 ⑤0人 参加者178人 回答数 93人（99%）

G.W.限定 ①147人 ② 9人 ③3人 ④1人 ⑤0人 参加者238人 回答数164人（95%）

初夏 ① 67人 ② 2人 ③1人 ④0人 ⑤0人 参加者232人 回答数 71人（97%）

夏休み限定 ①249人 ②12人 ③0人 ④0人 ⑤0人 参加者484人 回答数262人（99%）

秋 ① 83人 ② 4人 ③0人 ④0人 ⑤0人 参加者234人 回答数 87人（100%）

クリスマス限定 ① 43人 ② 4人 ③0人 ④0人 ⑤0人 参加者160人 回答数 47人（100%）

冬 ① 51人 ② 3人 ③0人 ④0人 ⑤0人 参加者152人 回答数 54人（100%）

6 外部専門家意見

・近年リスキング・アップスキリングが重視されている。参加者のスキルや知識がどのように伸びたかアンケートを行い事業に活かすことが必要。また、アンケートのやり方を改善することが必要。

・年間通しての団体利用が極めて少ない。学校との関係や社会教育団体等の連携が足りないと思う。クラフトパークフェスタなどはすごく活気があって地元の方には認知されていると思うがもっと広報媒体をうまく活用して広く認知されるように取組んでほしい。

・利用者数の減について、社会の状況として考えた場合、WEB体験などもうまく活用したらどうかと考える。リアルとバーチャルの両方を使う人も増えているので、基本は対面で指導してもらい、補助としてバーチャルを使ってはどうかと思う。対面での指導は、ものづくり以外にも人間関係を築けたり、コミュニケーションを取る中でいろいろなことを培っていき共有することができる。クラフトとしての役割は、フェイスtoフェイスでバーチャルも取り入れながら行ってほしい。

・利用人数の増について、入口となるものが必要。おためし入学など子どもたちが自分の知らないような世界に触れたときに興味関心を持つので大人についてもそうだが対象者別にターゲットを絞って取組んでほしい。

・インターンシップの受入れについて、何のために行っているかを考えてほしい。受け入れた先にどういうキャリアが形成されているのか、ものづくりの担い手をどう社会の中で作り上げていくかをインターンシップの中に落としていくのが重要であると思う。

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		S	・受講者等の満足度は高い数字が出ているが、アンケート方法にはもう少し改善が必要。QRコード以外に紙で回答される方の配布回収方法を見直してほしい。
市費の縮減		B	・人件費や物価が高騰する中、努力しているのは評価できるが、今後はもう少し物件費の縮減に努めてほしい。
管理運営の履行状況		A	・1日体験など伝統工芸やクラフトに興味関心を持つきっかけとなるおためし入学などはぜひ広げてほしい。 ・防災、環境保護等の取組みなど、社会的責任を果たしていると評価できる。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
施設の管理運営			
事業計画の実施状況			
施設の有効利用			
社会的責任・市の施策との整合性			
総合評価		A	